

平成19年度 社会資本整備事業調整費等の実施について

ポイント

- 景観形成事業推進費、災害対策等緊急事業推進費として約8億円が追加配分。
- 景観形成事業推進費により、手取川の河川改修事業、一般国道470号 七尾氷見道路を推進。
- 災害対策等緊急事業推進費により、石川海岸小松工区の海岸保全施設整備事業を推進。

1. 基本方針

限られた予算の中、今回採択された各プロジェクトの早期完成・供用に資するため、調整費等の追加による重点投資を行い事業を推進します。

2. 追加予算の概要

(1) 景観形成事業推進費

良好な景観形成に係る公共事業を推進する予算であり、豊かで質の高い国民生活の実現に向けて良好な景観形成を図るとともに、観光立国の推進にも資するものです。

① 手取川の改修推進（事業費 210百万円）：【資料-1】

手取川みかわみなみまちの美川南町地区は、川の流れが集中し、河床が深く洗掘していることから、堤防が決壊するおそれがあるため、低水護岸の整備を推進します。当該地区は「ふるさとの川整備河川」に指定されており、整備にあたっては、計画と整合をとり、自然豊かな景観に配慮しながら良好な水辺空間整備を実施します。

＜白山市美川南町地区（手取川右岸0.4k付近）＞

② 一般国道470号ななおひみ 七尾氷見道路の推進（事業費 400百万円）：【資料-2】

七尾氷見道路は、高規格幹線道路の一般国道自動車専用道路として整備を進めている「のうえつ能越自動車道」の一部であり、高規格幹線道路網の形成と重要港湾七尾港へのアクセス強化、国道160号の事前通行規制区間の迂回を目的とする事業です。本推進費により、七尾IC周辺において周辺の環境と調和した景観を形成するための事業を推進します。＜七尾市＞

(2) 災害対策等緊急事業推進費

洪水・高潮・地震・津波・波浪等の自然現象による災害を受けた地域等において、災害対策等緊急事業を迅速に立ち上げ、または推進することにより、再度災害防止等を図り、住民の安全・安心の確保に資するものです。

① 石川海岸小松工区の空洞化対策の推進（事業費 200百万円）：【資料-3】

平成19年1月の冬期風浪等により海岸堤防の空洞化が発生したはまさみ浜佐美地区において、再び冬期風浪により空洞箇所が拡大し、さらには海岸堤防が倒壊する恐れがあるため再度災害の防止対策を行います。＜小松市浜佐美地区＞

(3) 金沢河川国道事務所所管事業 合計 810百万円